



## 1. マーケット・レート

			11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2060	3.1680	3.2250	3.3930	3.4020	+0.0090
	BRL/JPY	Spot	32.62	33.15	32.81	31.46	31.38	-0.08
	EUR/USD	Spot	1.1037	1.1033	1.0931	1.0890	1.0848	-0.0042
	USD/JPY	Spot	104.59	105.03	105.84	106.84	106.77	-0.07
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	13.18 12.32	13.15 12.34	13.09 12.31	13.22 12.43	13.27 12.51	+0.0485 +0.0731
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.102 2.291	2.154 2.349	2.170 2.319	2.171 2.390	2.195 2.595	+0.024 +0.205
株式	Bovespa指数		64,051.65	64,097.70	63,258.27	61,578.44	59,183.51	-2,394.93
CDS	CDS Brazil 5y		269.88	264.88	273.97	315.37	320.30	+4.93
商品	CRB指数		183.495	183.552	183.989	183.334	180.740	-2.594

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは米国大統領選挙の結果を受けて、約5ヶ月ぶりの安値まで下落。
- 週初のレアルは3.2040で寄り付いた。米国選挙世論調査の民主党優位の結果を受けてリスク資産買いが強まるとしてアルは週間高値となる3.1630を示現。しかし、予想に反して共和党のトランプ氏が当選を確定したとの報道を受け、9日のレアルは寄り付きから前日比2.4%レアル安方向に窓を開けて寄り付いた。その後、FEDの利上げ観測を背景にドル金利が上昇すると新興国通貨は全面安の展開となり、レアルは6月中旬以来の安値となる3.5070を示現した。週末にかけては伯中銀による1年2ヶ月振りの新規ドル売り介入を受けてレアルは急反発し、3.4020で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2016年のGDP成長率予想が▲3.30%から▲3.31%へ5週連続で引き下げられた。2017年予想は1.21%から1.20%へ3週連続の引き下げとなった。インフレ率予想は2016年末が6.88%で8週間ぶりに据え置かれる一方、2017年末予想は5.00%から4.94%に引き下げられた。政策金利予想は2016年末が13.50%、2017年末が10.75%でいずれも不变だった。
- 9日早朝、トランプ氏の当確が報道された。直後は全世界的にリスク資産売りの動きが見られたが、売り一巡後はトランプ新政権への期待感から先進国の株式市場が急反発した。同氏の政策が米国のインフレ率を高めるとの観測から利上げ期待が高まり、為替市場はドル全面高の展開となつた。新興国の株式市場は下落した。
- 11日、伯中銀は急なレアル安進行を受けて4月以来初めて75億ドルのドル売りポジションのロールオーバーを実施。午後には昨年9月以来で初めて約55億ドルのドル売り介入を新規で実施した。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



出所 : Bloomberg

## 米大統領選挙の結果を受けて中南米通貨が下落

事前の世論調査に反して共和党のトランプ氏が米国第45代大統領当選者となったことを受け、リスクオフムードで中南米国通貨が全面安の展開となつた。その後、FEDによる利上げ観測が高まりドル金利が上昇すると中南米通貨は続落した。レアルは6月以降で初めて3.5台まで下落し、1日の下落幅としては2008年以来の大幅下落を記録。これに対し、伯中銀は昨年9月以来となる新規のドル売り介入を実施した。ボベスパ指数は週間で約4%下落。ブラジル5年国債CDSは7月以降で初めて3%台まで上昇した。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.25—3.55

来週のブラジル国内はイベントに乏しく、伯中銀の介入動向が焦点となる。全体的には引き続き米国サイドの材料に振らされる展開となろう。市場ではトランプ氏の政策が米国のインフレ率を高め、FEDが来年以降も断続的に利上げを行うとの観測が高まっている。米利上げ期待を背景に新興国通貨は売られやすく、レアルは安値を伺う展開を予想する。尚、来週はブラジルの祝日に絡んで特に週前半はマーケットが薄くボラタイルな値動きが予想される。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	ミカソン大学消費者マインド*	87.9	91.6	87.2
米	ミカソン大学現在景況感	103.0	105.9	103.2
米	ミカソン大学消費者先行景況感	77.5	82.5	76.8

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	11/14	貿易収支(週次)	nov/13	--	\$320m
ブラジル	11/14	税収	Oct	--	94770m
ブラジル	11/14	登録雇用創出合計	Oct	--	-39282
米	11/15	小売売上高速報(前月比)	Oct	0.6%	0.6%
ブラジル	11/16	FGV CPI IPC-S	nov/15	--	0.39%
ブラジル	11/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Nov	0.02%	0.12%
米	11/16	MBA住宅ローン申請指數	nov/11	--	-1.2%
米	11/16	鉱工業生産(前月比)	Oct	0.2%	0.1%
ブラジル	11/17	経済活動(前年比)	Sep	-3.60%	-2.72%
ブラジル	11/17	CNI産業信頼感	Nov	--	52.3
米	11/17	住宅着工件数	Oct	1155k	1047k
米	11/17	新規失業保険申請件数	nov/12	256k	254k
ブラジル	11/18	FIPE CPI-週次	nov/15	--	0.33%
ブラジル	11/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Nov	0.25%	0.16%
米	11/18	景気先行指数	Oct	0.1%	0.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。